

## 第30回 全日本還暦軟式野球選手権大会 開催要項

1. 主催 全日本還暦軟式野球連盟
2. 主管 兵庫県還暦軟式野球連盟
3. 共管 兵庫県軟式野球連盟
4. 後援 厚生労働省、(公財)全日本軟式野球連盟、兵庫県、兵庫県教育委員会、(公財)兵庫県体育協会、姫路市、姫路市教育委員会、姫路市体育協会、(公社)姫路観光コンベンションビューロー、毎日新聞神戸支局、神戸新聞社、デイリースポーツ、NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西
5. 協賛 ナガセケンコー(株)、ダイワマルエス(株)、(株)共同写真企画、サッポロビール(株)
6. 協力 神姫バスツアーズ(株)
7. 会期 平成26年10月3日(金) 監督会議、開会式  
10月4日(土)～7日(火) 競技日 <雨天順延 8日(水)>
8. 会場 兵庫県姫路市 姫路球場をメイン会場に次の8球場を競技会場とする。  
姫路球場、豊富球場、香寺総合公園スポーツセンター野球場、球技スポーツセンター野球場(花田)、白浜新開公園野球場、中島野球場、東洋大姫路高校野球場、新日鉄住金広畑球場
9. 出場チーム数 全還連で決定された出場枠に基づくブロック別推薦チームとする。  
・北海道・東北ブロック 13チーム ・北関東ブロック 10チーム  
・南関東ブロック 9チーム ・東海ブロック 8チーム ・北陸・信越ブロック 5チーム  
・近畿ブロック 8チーム ・中国・四国ブロック 5チーム ・九州ブロック 6チーム  
合計64チーム
10. 出場資格 (1)平成26年度全日本還暦軟式野球連盟に登録したチーム及び選手。  
(2)昭和29年12月31日以前に出生した者で編成されたチーム。  
(3)チームの編成は監督以下30名以内とする。
11. 適用規則 2014年度公認野球規則及び本大会規則を適用する。
12. 大会規則 (1)試合はトーナメント形式で7回までとし、同点の場合は次の方式で特別延長戦を行う。  
【特別延長戦】  
一死満塁で実施、打順は前回からの継続とし、走者は前回の最終打者を一塁走者とし、その前打者がそれぞれ二塁、三塁走者となる。  
特別延長は2回までとし、決着がつかない場合は抽選とする。  
(抽選は○×方式とし、○が勝ち) 但し、決勝戦に限り通常の延長戦を12回までとし、なお決着がつかない場合は抽選とする。  
(2)5回以降、得点差が10点以上の場合はコールドゲームとする。(但し、決勝戦は除く)  
(3)投手板と本塁間の距離は16.3m、各塁間は25.0mとする。  
(4)大会使用球は、全日本還暦軟式野球連盟公認球のケンコーボールB号とする。  
(5)金具付きスパイク及びズック靴でのプレーは禁止する。  
(6)打者、走者、次打者、ベースコーチは必ずヘルメットを着用のこと。  
(7)ユニフォームは、同形・同色・同意匠のもので企業名を入れてはならない。  
(アンダーシャツ・ストッキング・スパイクを含む。)  
また、ユニフォームのパンツの裾が開いているものは危険防止のため着用を禁止する。  
(8)背番号は監督30番、主将10番とし、00番と3桁番号は認めない。参加申込み後の選手の変更・追加及び背番号の変更は認めない。  
(9)不正出場などの規則違反に対しては、全日本還暦軟式野球連盟の定める規則により処理する。  
(10)正当な理由なくして途中棄権をしてはならない。もしその事実があった場合には、その事由

の如何を問わず当該チーム及び所属ブロックはペナルティの対象とする。

13. 組合せ抽選 大会役員立会いのもと、厳正に代理抽選を行う。  
(1) 日 時 平成26年8月1日(金) 午後1時30分～  
(2) 場 所 尼崎市小田公民館
14. 監督会議 出場チームの監督または代理者1名と他1名、合計2名の出席で下記により行う。  
(1) 日 時 平成26年10月3日(金) 午後2時～  
(2) 場 所 姫路球場 会議室
15. 開会式 (1) 日 時 平成26年10月3日(金) 午後3時～  
(2) 場 所 姫路球場(各チーム10名未満での参加は認めない。)  
(雨天の場合は姫路市体育館で行う。)
16. 表 彰 (1) 優 勝 優勝旗(持ち回り)、賞状、優勝メダル  
(2) 準優勝 準優勝盃(持ち回り)、賞状、準優勝メダル  
(3) 第3位 賞状(2チーム)  
(4) 個人賞 最優秀選手賞、敢闘賞、打撃賞、勝利監督賞(以上は決勝出場チームから)
17. 参加申込み 平成26年7月15日(火)必着で所定の用紙に記入し、郵送またはE-mailにてお申込み下さい。

注1 参加申込書(出場選手名簿)はワープロかパソコンで明確に作成して**2部提出してください。**

注2 監督・主将・投手・捕手・内野手・外野手の順で背番号の若い順に記入してください。

**【提出されたものはそのまま大会プログラムに掲載しますので折りたたみ厳禁】**

・申し込み先

〒661-0044 兵庫県尼崎市武庫町1-55-16

兵庫県還暦軟式野球連盟 事務局 古澤 信彦 宛

TEL/FAX 06-6435-4506

携帯 090-7751-5283

E-mail nfurusan@bcb.bai.ne.jp

18. 参加料 1チーム ¥60,000を参加申込みと同時に下記口座へチーム名をもって振り込んでください。

・金融機関名: ゆうちょ銀行(店番438)

・口座番号: 普通 6697995

・口座名義人: 兵庫県還暦軟式野球連盟 会計 池田 克彦

19. 宿舎等斡旋 宿舎・弁当・大会プログラム追加分の斡旋を希望するチームは同封の申込書に記入の上、7月15日(火)までに下記に申し込んでください。

・申し込み先 〒670-0913 兵庫県姫路市西駅前町1番地

神姫バスツアーズ株式会社 チームリーダー 藤村 伸介 宛

TEL: 079-224-1501 FAX: 079-285-0402

・弁当(昼食)は一食900円(お茶付き 税込み)。

・2日目以降の予約は試合終了後に申し込んでください。

20. その他 (1) 出場チームは必ずスポーツ傷害保険に加入し、健康保険証を持参のこと。  
また、大会期間中の傷病については、大会本部では応急手当までとし、それ以降は当該チームまたは選手個人で負担のこと。  
(2) プログラムの配布は1チーム20冊とし、追加希望チームには一冊1000円で頒布します。  
必要な場合は19項に従って参加申込みと同時に予約願います。

(3)その他不明な点については、下記大会事務局までお問い合わせください。

本大会事務局

総務委員長 古澤 信彦(兵庫県還暦軟式野球連盟 事務局)

〒661-0044 兵庫県尼崎市武庫町1-55-16

TEL/FAX 06-6435-4506 携帯 090-7751-5283

E-mail [nfurusan@bcb.bai.ne.jp](mailto:nfurusan@bcb.bai.ne.jp)

運営委員長 河野 登(兵庫県還暦軟式野球連盟 事務局)

〒663-8006 兵庫県西宮市段上町6-22-15-516

TEL/FAX 0798-52-9440 携帯 090-4295-2459

E-mail [etkawano@hotmail.co.jp](mailto:etkawano@hotmail.co.jp)

## 大会細則・競技運営に関する事項

1. 出場チームは、試合開始予定時刻の30分前までに必ず球場に到着していること。試合開始予定時刻を経過しても何らかの連絡もなく、チームが到着していない時は、当該チームは棄権として処理する。
2. 各チームは、第一試合においては試合開始30分前に、その他の試合にあつては前試合の5回終了時に、主将はオーダー表5部を本部に提出して、登録名簿との照合を受けた後に、審判員立会いのもと攻守を決定する。オーダー表には、出場予定の全選手を記入しなければならない。
3. シートロックは5分間とするが、試合進行上時間を短縮するか、行わない場合もある。この場合はオーダー表提出時に説明する。また、次試合の先発バッテリーは前の試合の5回以降、球場内の所定の場所にて練習を認める。(審判員の指示に従うこと。)
4. ベンチに入る者は、ユニフォームを着用した監督、選手の他は代表者、マネージャー、記録員(女性可)各1名とする。
5. 日没、降雨、その他の理由によって審判員が試合続行不可能と認めた時点で、5回表裏を未だ完了していない時、もしくは同点の場合は翌日の第一試合に先立って特別継続試合を行う。この場合、打順及び守備は中断時と同一の状態を開始する。すでに5回表裏を完了している場合は、それまでの得点が多いチームを勝ちとする。7回表裏を終えて同点の場合は、「特別延長制」を行う。(詳細は大会要項を参照)
6. 試合進行上の異議申し立ては、必ずそのチームの監督と主将、当事者に限って行うことができる。いかなる理由があつても他の者が異議申し立てをすることはできない。監督、主将が不在の場合は事前に本部へ代理監督、主将を届けておくこと。
7. 雨天の場合でも本部からの連絡がない限り試合を行う。また、雨天時の試合の可否は午前6時とし、各チームの代表者または連絡責任者が大会本部に確認すること。
8. 金属バットは連盟公認(JSBB印)のものを使用すること。試合中雷が発生した場合には、状況を判断して試合を中断して全員を安全な場所に避難させ、气象台等の情報を把握しその後の処理を行う。
9. 危険防止のため打者、走者、捕手、ベースコーチはヘルメット着用を義務付ける。また、捕手にはマスク、プロテクター、レガースを、攻守交代時に投手の投球練習を補佐する選手もマスクの着用を義務付ける。なお、ファウルカップについては着用が望ましい。
10. ベンチサイドは組合せ表の若い番号を一塁側とする。また、ベンチサイドのファウルボール、ボールデッドのボールは各チームで処理すること。
11. サングラスの使用は原則禁止とする。やむを得なく使用するときには事前に審判員の許可を得ること。
12. 試合中次打者以外の者は、みだりにベンチを出る行為は禁止する。ただし、競技を準備する者、ボールデッドのボールを処理する者は除く。また、ベンチ内で携帯電話を使用することは厳禁とする。

## 審判上の注意事項

1. 試合はスピーディーに運ぶように努め、攻守交代は駆け足で行うこと。特に野手は注意すること。ただし、投手に限り内野地域内は歩いて差し支えない。また、監督等もマウンドへの往復は駆け足で行うこと。
2. 投手が捕手のサインを見る時は、走者の有無に関わらず必ず投手板に着いてみること。
3. 投手の投球練習は初回7球、2回以降は3球以内とする。また、試合中に投球のインターバルが長過ぎたり、無用な牽制の度が過ぎた場合、反則行為としてペナルティを課すことがある。
4. 攻守交代時の際、最後の野手は必ず投手板上にボールを置くこと。
5. 打者がベンチからのサインを見る時は、打席内から見る。また、打者がみだりに打席を外す時は、審判員はタイムをかけずに投手の投球に対して正規に判定する。
6. タイムは次のとおり制限する。ベンチからのタイムは攻守ともに3回までとする。(ただし、投手交代は除く。) 守備側からのタイム要求で試合が中断された時は、投手は捕手を相手に投球練習をしてはならない。試合中、意図的にスパイクの紐を結び直すためのタイムは認めない。タイムは1分以内を限度とする。ただし、審判員が認めた場合はこの限りでない。
7. 試合中、内野手間の転送球は一回りとし、投手への返球は定位置から速やかに行うこと。ただし、試合進行状況により転送を中止させることもある。
8. 次打者は必ず低い姿勢で次打者席に入っていること。
9. 本塁打の走者を迎える場合はベンチ前とする。
10. グラウンドルールについては、担当審判員が各球場にて説明する。